

和歌山だよいい

令和5年 1月号
(2023)



高野山 壇上伽藍 (高野町)

弘法大師・空海が高野山を開山した際、真っ先に造営に取り組み、奥之院とともに高野山の二大聖地の一つとされている壇上伽藍。「金堂」や高野山のシンボルともいえる高さ48.5mの「根本大塔」などが建ち並んでおり、雪の装いにより、その荘厳さが一層際立ちます。(写真提供:公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

- 1 知事メッセージ p. 1
- 2 和歌山県政トピックス p. 2 ~ 8
- 3 お知らせ p. 9 ~ 13
- 4 ふるさと歳時記 p. 14



新春のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

皆さまには、気持ちも新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も知事就任後、初めての新年を迎え、改めて、知事という重責に身の引き締まる思いです。県民の皆さまからの負託に全身全霊で応えていくことを強く誓ったところです。

去年は、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の進行、物価高騰など、私たちの日常生活をも揺るがしかねない大きな出来事が相次ぎました。

一方、和歌山県におきましても、止まらない人口減少や少子化への対応、南海トラフ地震など自然災害への備えなど大きな課題を抱えております。

そのために、農業、林業、水産業など一次産業の活性化と新しい観光産業の振興に加え、子育て世帯の経済的負担を軽くするための支援の充実や創造的な人材の育成を図りたいと思います。

今回の知事選では、「和歌山が最高！だと 子どもたちが思う未来を！」と訴えてきました。私が目指すこの未来は一朝一夕に実現するものではありませんが、その扉に向かって着実に歩みを進めていくため、皆さまの声を直接お聞きし、県庁をあげて、開かれた温かみのある県政を行ってまいります。

さらに、全国で活躍している幅広い分野の方々にアイデアを出してもらおうプラットフォームを作り、県内で頑張っておられる方々の知恵と力を合わせて、ワクワク、ドキドキするような和歌山県活性化のプロジェクトを発信していきます。

今、目の前では、小型ロケット「カイロス」が、串本の地から打ち上げられようとしています。また今年も、インバウンド観光の回復も予想される中、弘法大師ご生誕 1250 年を迎えるなど、まさにコロナ禍からの反転攻勢に大いに弾みがつく一年になると、期待がふくらみます。

新たな県政がロケットスタートを切れるよう、私も職員と一丸になって頑張ってみます。

最後に、新しい一年が、皆さまにとって輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

和歌山県知事 岸本 周平



●「和歌山ワーケーションシンポジウム」を開催しました

11月21日～23日の3日間、日本におけるワーケーション発祥の地であり、「ワーケーションの聖地」とも言われる本県において、ワーケーションの本質を考察・体感する機会を提供することで、個人・企業・地域が変革を起こす契機とするとともに、改めてワーケーションの意義を全国に向けて発信することを目的として、「ワーケーション・コレクティブインパクト 2022in 和歌山 ～和歌山から発信するCX（コーポレート・トランスフォーメーション）～」を開催しました。

その実施プログラムの一つとして、22日に「和歌山ワーケーションシンポジウム」を実施し、現地とオンライン合わせて約550名が参加しました。

シンポジウムでは、早稲田大学大学院経営管理研究科/早稲田大学ビジネススクールの入山章栄教授いりやまあきえから「経営理論に基づくワーケーションの本質とは？」と題し、日本企業がイノベーションを起こすための方法論である「知の探索」と「知の深化」を組み合わせた「両利きの経営」を進めるひとつの手段として、ワーケーションが持つ意義について基調講演をしていただきました。



グループディスカッションの様子

その後、株式会社 YeeY の島田由香共同しまだ ゆか創業者/代表取締役、株式会社メルカリの天野宏あまのひろし会長室政策企画参事、先の入山氏をパネリストにお招きして、「ワーケーションを通じたウェルビーイング向上と地域活性化とは？」をテーマに、企業経営や経営学の観点からワーケーションの意義等について、実践者としての事例紹介を交えながらパネルディスカッションを行っていただきました。

参加者からは、企業や地域の受入事業者等の多様な参加者と交流することができて良かったなど、様々なお声を頂きました。

これまで県では、全国の自治体に呼びかけて実現した「ワーケーション自治体協議会」の設立や、持続可能なワーケーションの受入体制を整備するために県内受入事業者をネットワーク化する「和歌山ワーケーションネットワークス制度」の構築などの取組を積み重ねてきており、平成29年度から令和3年度の5年間で159社1,373名が本県でワーケーションを体験されています。

ワーケーションが日本全国に普及することで、それぞれの地域の魅力の発掘・発信にもつながると考えられるため、引き続き、ここ和歌山から好事例を広く発信していきます。



基調講演を行う入山氏

● 「令和4年度和歌山県農林水産業賞」表彰式を開催しました

12月1日、県庁の正庁で「令和4年度和歌山県農林水産業賞」表彰式を開催し、12名1団体の方々を表彰しました。

県では、本県の農林水産業及びこれに関連する産業の振興や発展並びに農山漁村の活性化に貢献し、その業績が特に優れ、他の模範となる個人及び団体を讃えるため、「和歌山県農林水産業賞」を創設し、これまでに1,284の個人・団体を表彰してきました。



受賞者代表（蕨野さん）への賞状等授与の様子

式典では、受賞者の方々の御功績を紹介し、受賞者を代表して蕨野準（わらびのじゅん）さんに知事から表彰状と記念品（楯）をお贈りしました。



受賞者代表（土井さん）謝辞の様子

続いて土井清美（どいきよみ）さんから受賞者代表として、受賞の喜びとともに、これからも農林水産業の振興発展のために研鑽を重ね、精進していくという力強い決意が述べられました。

受賞者の皆さんのこれまでの農林水産業への多大な御尽力に深く感謝いたしますとともに、県では、受賞者の皆さんの御協力も得ながら、今後もICT技術等を導入した農林水産業のスマート化の推進や農林水産物の高品質化及び生産性向上を図り、移住施策と連携した産地の受入体制の強化等、新たな担い手の確保に向けて全力で取り組んでいきます。

■ 令和4年度和歌山県農林水産業賞受賞者の皆さん（五十音順・敬称略）

受賞部門	受賞者・団体名	
農業部門 (9名・1団体)	久保 博巳	平林 孝郎
	塩崎 一男	山本 茂樹
	下畑 千秋	山本 佳司
	土井 清美	蕨野 準
	中村 幸男	農事組合法人 瀧本畜産
林業部門 (2名)	沖 久雄	勝山 高嘉
水産業部門 (1名)	木元 伸彦	

●「龍神温泉の森クマノザクラ植樹会」が開催されました

県では、将来の景観資産につながる花の名所づくりに取り組む団体等の活動を、「未来を彩る花の郷づくり事業」（県補助事業）にて支援しています。

今年度は、3つの事業を採択しています。採択された事業のうち、龍神温泉の森をつくる会は、事業のスタートを記念して11月23日に「龍神温泉の森クマノザクラ植樹会」を開催しました。そして、龍神温泉元湯近くの山林に、地域住民等約100名の参加のもと、クマノザクラ(*)200本が植栽されました。



山の斜面に植樹を行いました



植樹記念碑

植樹会では、同団体の平岡照章会長の挨拶の後、龍神中学校の生徒会長から、「自慢の龍神村をもっと多くの人に知って楽しんでもらうために、龍神温泉周辺を日本で唯一のクマノザクラの郷となる名所に育てるための活動に参加し、景観資産づくりのお手伝いをします」という心強いメッセージが発表されました。

龍神温泉元湯一帯に10,000本を植樹することで日本一のクマノザクラの名所をつくることを目指すこの取組は、来年度以降も継続され、周辺の温泉施設や観光・宿泊施設への誘客や地域活性化につながることを期待されます。

県では、このように地域資源を生かした積極的な活動を行っている団体等を応援し、今後も様々な手段により地域活性化に向けた取組を推進していきます。

(*)クマノザクラ：国内に自生する野生のサクラとしては、1915年に発見されたオオシマザクラ以来、約100年ぶり(2018年)の新種のサクラ

■令和4年度未来を彩る花の郷づくり事業 その他の採択事業について

団体名	事業の概要・アピールポイント
稲原さんぼ道の会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印南町印南原の山間部(JR稲原駅から約1km)の「オンツツジの郷」にオンツツジ300株を植樹する。 ・ 令和2年度から本事業を活用し、オンツツジ250株を植樹しており、来年度以降も取組を継続し、最終的には1,350株の日本一のオンツツジの名所を目指す。
加太観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌山市の森林公園(南海加太駅から約4km)にアジサイ1,000株を植樹する。 ・ 平成18年からアジサイの植樹に取り組み、9,000株を植樹しており、来年度以降も取組を継続し、最終的には160,000株の世界一のアジサイの名所を目指す。



日本一のクマノザクラの名所を目指して植樹を行いました

●タイ国政府観光庁との観光交流促進に係る趣意書を更新しました

県では、2018年11月にタイ国政府観光庁と本県及びタイ国における観光交流の促進を目的とした趣意書を締結しました。

このたび、2020年に続いて2度目の期限満了を迎えることから、11月22日に趣意書の更新署名式を開催し、タイ国政府観光庁のユタサック・スパソーン総裁と知事が趣意書への署名を行いました。



ユタサック・スパソーン総裁と知事

2018年の趣意書締結以来、観光プロモーション活動の相互協力として、県からは県下の県立・私立高等学校に対する修学旅行先としてのタイをPRする機会を提供し、タイからは現地で実施した和歌山観光商談会において、現地旅行社の募集を支援していただくなどの取組を行ってきました。

そして、HPの相互リンクを実施することで、それぞれの旅行者に対して観光情報を提供するとともに、ワーケーションやサステイナブルツーリズムなどの観光振興・誘客を目的とした事業ノウハウの共有にも取り組んできました。

今秋に入り、日本でも新型コロナウイルス感染症の水際対策が大幅に緩和され、タイにおいては10月1日より入国制限が完全撤廃となりました。

今後、両国間の往来の本格的な再開が見込まれる中で、今回の趣意書更新を契機として、情報・意見交換をより活発に行うことで、両国の友好関係を一層深化させていきます。

タイ国政府観光庁（Tourism Authority of Thailand）

…1960年3月に設立。タイ国内外への観光情報発信の他、観光コンテンツの海発や観光産業に携わる機関・団体へのサポートを主な職務としており、2022年現在、タイ国内45ヶ所、海外29ヶ所の事務所を有する。

●「令和4年度紀州材ベストユーザー賞」表彰式を開催しました

県では、東京・名古屋・大阪などの国内における木材の大消費地において、和歌山県産材である紀州材の需要拡大に実績のある建築士、工務店、団体等や、紀州材を使用した新しいライフスタイルの提案を行う企業等を対象に、その優れた取組を「紀州材ベストユーザー賞」として表彰し、広く紹介することにより、紀州材の更なる需要拡大につなげていくことを目的に、平成21年度から実施しています。



受賞者・推薦者の皆さんと知事

11月15日に表彰式を開催し、「大賞」を受賞した湯快リゾート株式会社の西谷浩司代表取締役にしたにこうじに、知事から表彰状と記念品をお贈りしました。

同社は、2003年9月の設立以来、西日本を中心に全国各地で30の温泉旅館やリゾートホテルを展開されており、新築ではなく木材を使用した既存施設の改修を基本とするなど、地域の温泉地の活性化に寄与されています。

さらに、2012年からは施設のロビーや客室に紀州材を活用され、その総使用量は300㎡に及ぶなど、紀州材のPRにも大きく貢献されています。

県では、引き続き、強度と耐久性に優れ、香りと色合いの良い紀州材の魅力を発信するとともに、その普及に取り組んでいきます。

■施設における紀州材の使用例



別府鉄輪温泉 ホテル風月
(大分県/2021年)
* 内装材に使用



黒部・宇奈月温泉 宇奈月グランドホテル
(富山県/2017年)
* 構造や外壁に使用



平戸千里ヶ浜温泉 ホテル蘭風
(長崎県/2017年)
* 内装材に使用

<表彰の種類>

大賞

…紀州材に関する取組が継続的なものであり、今後においても需要拡大が見込まれるもの

特別賞

…紀州材に関する取組が短期的ではあるが、紀州材の利用啓発効果が大きいもの

●ブラジル和歌山県人会員と和歌山市内小学校の交流会を実施しました

県では、12月7日、8日の2日間、ブラジル和歌山県人会員で尺八・フルート演奏家として活躍されているシェン・響盟・リベイロさんと和歌山市内の小学校3校の児童との交流会を実施しました。

本交流会は、自身のコンサートのため来日していたリベイロさんの提案により実現し、ブラジルの国や尺八の歴史についてのお話や尺八とフルートの演奏を比較して、邦楽と洋楽の違いをご紹介いただきました。

また、児童は、ブラジル音楽で使われる「ガンザ」を模した、お米を入れたペットボトルを使ってリズムを刻み、リベイロさんが演奏するフルートの音色との合奏を楽しみました。



ガンザの振り方を教わる児童

リベイロさんは、国や文化、言語が違っても心で通じ合えることや、生きがいを探して、勉強、努力を続けてほしいというメッセージを、自身の経験を踏まえて児童に伝えてくれました。

交流会に参加した児童からは、「日本とブラジルは反対の位置にあるが、2国は115年も前から繋がりが深いことが分かった。他に日本とブラジルにはどんな繋がりがいいのか調べてみたい」「年齢や考え方などは関係なく、夢を持ちその夢に向かって勉強などの努力をし続けることが大切なのだと分かった」などの感想が寄せられ、大変有意義な交流会となりました。

県では、令和5年に「第2回和歌山県人会世界大会」の開催を予定しています。今後も、在外県人会と県内青少年との交流機会を創出し、移民史や異文化への理解を深めるとともに、ふるさと和歌山への誇りを高めるきっかけ作りを行っていきます。



リベイロさんによる尺八演奏の様子

交流会に参加した児童からは、「日本とブラジルは反対の位置にあるが、2国は115年も前から繋がりが深いことが分かった。他に日本とブラジルにはどんな繋がりがあるのか調べてみたい」「年齢や考え方などは関係なく、夢を持ちその夢に向かって勉強などの努力をし続けることが大切なのだと分かった」などの感想が寄せられ、大変有意義な交流会となりました。

交流会に参加した児童からは、「日本とブラジルは反対の位置にあるが、2国は115年も前から繋がりが深いことが分かった。他に日本とブラジルにはどんな繋がりがあるのか調べてみたい」「年齢や考え方などは関係なく、夢を持ちその夢に向かって勉強などの努力をし続けることが大切なのだと分かった」などの感想が寄せられ、大変有意義な交流会となりました。

シェン・響盟・リベイロさんのご紹介

(ブラジル サンパウロ州出身・在住
／尺八奏者、フルーティスト)



サンパウロ市立音楽学院でフルートを学び、サンパウロ州立ジュニア・オーケストラ等の首席フルーティストとして活躍。1987年に尺八と日本の伝統文化を学ぶため来日。

1988年に東京藝術大学に入学し、尺八奏者で後の人間国宝 故山口五郎氏に師事。1999年に天皇陛下の御前で尺八を演奏。2013年に琴古流 尺八竹盟社師範を取得し、竹号を響盟と許される。現在、ブラジルで演奏者、プロデューサーとしても活躍中。

●第 42 回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）で和歌山県代表選手が金賞を受賞しました！

11月4日～6日に千葉県で開催された「第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）」において、和歌山県代表選手として「喫茶サービス競技」に出場した山下優香さん（ホテルアバローム紀の国）と「オフィスアシスタント競技」に出場した西川陽規さん（紀陽ビジネスサービス株式会社）がそれぞれ見事「金賞」を受賞し、12月12日に知事を表敬訪問されました。



受賞者のお二人と知事

山下さんは、「笑顔で接客することを心掛けた。これを機に、さらに笑顔に磨きをかけたい」と、西川さんは、「平常心で競技に臨めた。諦めずに続けてきたことが報われた」と、受賞の喜びを話してくださいました。

全国障害者技能競技大会とは、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的に開催される大会で、本県代表選手が金賞を受賞するのは平成4年以来、実に30年ぶりの快挙となります。

お二人には、金賞受賞を励みとして一層の御活躍を期待しています。

●アドベンチャーワールドのジャイアントパンダ『永明』が中日友好特使に任命されました！

今年、日中国交正常化50周年を迎えたことを記念し、これまでの日中関係構築に係る功績を称えるとともに、今後の更なる友好関係の発展を図るため、アドベンチャーワールドのジャイアントパンダ『永明』が中国駐大阪総領事館から初となる「中日友好特使」に任命されました。



任命式の様子

12月17日にアドベンチャーワールドで任命式が開催され、薛劍中国駐大阪総領事から永明に任命状が交付されました。

令和5年2月に中国へ旅立つことが発表された永明ですが、これからも元気一杯な姿で日中友好の懸け橋となり続けてほしいと思います。

●うめの収穫量 58年連続日本一！／「わかやま紀州館 mini」が和歌山の梅酒を専門に取り扱う「梅酒堂」（東京都）にオープンしました！

先ごろ、近畿農政局から令和4年産のうめの収穫量が発表され、和歌山県が58年連続の全国1位に輝きました。和歌山県のうめの収穫量64,400tは、全国の67%を占めています。

特に日本を代表するブランドとして国内外の多くの方に知られている「南高梅^{なんこううめ}」は、大粒で皮が薄く、果肉が厚く柔らかいのが特徴で、梅干しはもちろん、梅酒、梅ジュース、梅ジャムなどの素材としてオールマイティーに用いられています。

さらに、梅に含まれるクエン酸には疲労回復効果があるほか、梅酢ポリフェノールには、インフルエンザウイルスに対する増殖抑制作用や不活性化作用に加えて、近年の研究により、新型コロナウイルスへの感染予防効果があることが発表されており、日々の健康に欠かせないものとなっています。

2月になると、県中部の山間では白や紅の可憐な花をつけた梅を見ることができます。温暖な本県でも寒さが厳くなる季節ですが、なだらかな山々に見渡す限りの梅の花が広がる景色を楽しみに、是非お越しください。



梅酒堂（外観）

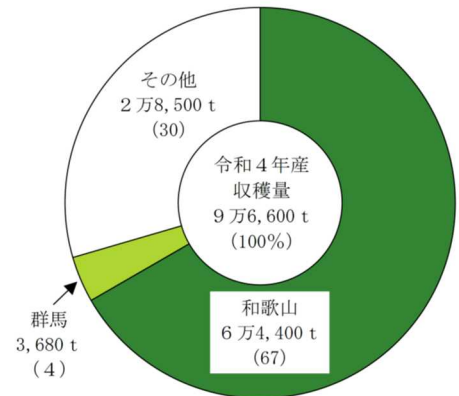


自動試飲機（店舗内部）

梅酒堂は今年8月に開店した和歌山梅酒の専門店です。店内で立ち飲みするスペースがあり、自動試飲機で3種の梅酒を500円で試飲できるほか、軽食を注文することもできます。県では、今後も広く継続的に県産品を紹介できるよう、「わかやま紀州館 mini」の開設に取り組んでいきます。



一粒に多くの可能性と豊富な効能が詰まっています



うめの都道府県別収穫量

さて、全国に向けて県産品の魅力をPRし販売促進を図ることを目的として、平成30年から開始したアンテナショップ「わかやま紀州館 mini」が、「梅酒堂」（東京都江東区富岡1-24-6）にオープンしましたのでお知らせします。

● 県立博物館で企画展「きのくにの信仰—霊地がつなぐカミ・ホトケ—」を開催中です

県立博物館では、企画展「きのくにの信仰—霊地がつなぐカミ・ホトケ—」を開催中です。

仏教の伝来は、それまで日本古来の「カミ」の信仰をもっていた人々にとって、新しい文化の流入でした。そして、目に見えぬ「カミ」への崇拝と、「ホトケ」の姿を表現する仏教は、不思議と交ざり合い、豊かな信仰の世界を繰り広げていくこととなりました。



獅子・狛犬 桃山時代（県立博物館蔵）



如意輪観音像 心窓常圓作
江戸時代（県立博物館蔵）

本展示の見どころをご紹介しますと、今回が初公開となる獅子・狛犬（右上写真）は、クスノキの一木から丸々彫り出した一木造で、両像とも大きく口を開け、まるで頭を高く上げて遠吠えをしているようです。たてがみや首の角度など左右を同じデザインにしているのも重要な特徴です。

精緻な色とりどりの刺繍で表現された如意輪観音像（左写真）は、仏教の尊像である如意輪観音の上に大きく「熊野山」と書かれ、神仏習合の様相をよく示しています。台座の下には作者と制作年が記されており、制作の背景が知られる点も貴重なものです。また、熊野信仰の中でもとりわけ如意輪観音と関わりが深い那智山に奉納されたものであると推察されています。

都からほど近くにありながら深い自然に閉ざされた「きのくに和歌山」には、高野山や熊野三山をはじめとする霊場が各地に存在しています。今回はミュージアム・トークも企画されておりますので、皆さん是非お越しください。

<開催概要>

- 会 期 令和4年12月3日（土）～ 令和5年1月22日（日）
 開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
 休 館 日 月曜日（1月9日（月・祝）は開館、10日（火）は休館）
 年末年始（12月29日（木）～1月3日（火））
 入 館 料 一般280円(230円)・大学生170円(140円) *（ ）内は20名以上の団体料金
 *高校生以下、65歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料
 *第1日曜日（12月4日・1月8日）は、全ての方の入館料無料
 関連行事 ミュージアム・トーク（展示解説）
 12/4（日）・12/24（土）・1/8（日）・1/14（土）・1/22（日）
 いずれも13時30分～14時30分
 *新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止となる場合があります。

●「和歌山県」×「YAMAP」共同企画 和歌山県街道マップのデジタル化を実施します！

県では、高野山や熊野古道の参詣道ウォークを楽しんでいただくためのアイテムとして、紙媒体で「和歌山県街道マップ」（全9種類）を発行しています。

この街道マップについて、このたび、登山アプリ「YAMAP」と連携することにより、街道マップに掲載しているモデルコースをアプリ上で閲覧し、これまで以上に

安心安全に参詣道ウォークを楽しんでいただける体制を整えました。

この機会に是非、聖地高野山・熊野にお越しくください。



和歌山県街道マップ（全9種）

■和歌山県街道マップデジタル化について

- ✓ 和歌山県街道マップ内に掲載している全44種類のモデルコースを登山アプリ「YAMAP」に掲載しました！
- ✓ アプリをインストールすることで、スマートフォンで現在地等を確認しながらモデルコース上を歩けるようになりました！



和歌山県街道マップコース一例（熊野古道大辺路）



アプリ上での見え方



…電波が届かない山の中でも、スマートフォンのGPSで現在地と登山ルートが分かる、楽しく安全に登山するためのアプリ。山行の軌跡や写真を活動記録として残したり、山の情報収集に活用したり、全国の登山愛好家と交流することもできる、2022年11月に累計340万ダウンロードを突破した、日本最大の登山・アウトドアプラットフォーム。



アプリDL用QRコード

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非ご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税

**** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては ****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

- ①新型コロナウイルス感染症対策
- ②生涯スポーツ・文化の振興
- ③子供たちの教育環境の充実
- ④がん対策の充実
- ⑤犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- ⑥世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- ⑦南紀熊野ジオパークの推進
- ⑧地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- ⑨学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- ⑩わかやまの美しい海づくり
- ⑪わかやまの文化財の保護
- ⑫大切なふるさとの森を守り育てる
- ⑬わかやまのナショナル・トラスト
- ⑭わかやまの農林水産業の振興



皆さまからいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

■寄附金控除の手続きについて（ワンストップ特例申請のご案内）

地方公共団体への寄附（ふるさと納税）については、税制上の優遇措置があります。寄附金額のうち、自己負担額の2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税（復興特別所得税を含む）及び個人住民税から全額が控除されます。

寄附金控除を受けるには、所得税の確定申告又はふるさと納税ワンストップ特例制度の申請が必要です。

* ワンストップ特例申請の場合は、所得税の軽減相当額を含め、個人住民税からまとめて軽減を受けることになります。

和歌山県では、ワンストップ特例申請の手続きを、より簡単・便利に行えるよう完全オンラインでのサービスを提供しています！

マイナンバーカードをお持ちの方は、紙のワンストップ特例申請書・確認書類の提出は不要となり、「自治体マイページ」から即座に申請を完結させることが可能です。

- * 申請にはデジタル庁提供のマイナポータルアプリが必要です。
- * 自治体マイページとは、ふるさと和歌山応援寄附に寄附したふるさと納税に関する情報を一元管理できる寄附者個人の専用ページです。
（自治体マイページは、株式会社シフトセブンコンサルティングが提供するサービスです。）



寄附金控除の手続きやオンラインワンストップ特例の詳細については、「ふるさと和歌山応援サイト」内「寄附金税制について」のページをご確認ください。



イベント情報（2月上旬～3月下旬）

*新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
2月上旬	御燈祭り	神倉神社 (新宮市)	新宮市観光協会 0735-22-2840
2月中旬	赤粥占い神事	伊作田稻荷神社 (田辺市)	田辺観光協会 0739-26-9929
3月3日	雛流し	淡嶋神社 (和歌山市)	淡嶋神社 073-459-0043
3月中旬	生石高原山焼き	生石高原 (紀美野町、 有田川長)	紀美野町産業課 073-489-5901 有田川町商工観光課 0737-52-2111
3月下旬	孫市まつり	本願寺鷺ノ森別院 (和歌山市)	孫市の会 073-460-8534

自然・風物情報（2月上旬～3月下旬）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
2月上旬	梅林オープン	南部梅林・岩代大 梅林（みなべ町） 紀州田辺梅林 (田辺市)	みなべ観光協会 0739-74-8787 紀州田辺観梅協会 0739-26-9929
2月下旬	椿見頃	通称つばき道路 (串本町) 友ヶ島 (和歌山市)	南紀串本観光協会 0735-62-3171 和歌山市観光協会 073-433-8118
3月上旬	和歌山城のこも外し	和歌山城公園 (和歌山市)	和歌山城整備企画課 073-435-1044
3月中旬	クマノザクラ見頃	県道龍神中辺路線 沿い（田辺市）	中辺路町観光協会 0739-64-1470
3月下旬	姫ひじきの収穫始まる	姫の磯 (串本町)	和歌山東漁協西向支所 0835-72-0176

～編集後記～

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

みなさまに新年最初の和歌山だよりをお届けしました。

12月17日に就任した岸本知事の冒頭の知事メッセージにもありますように「和歌山が最高！だと子どもたちが思う未来を！」めざしてがんばりますので、みなさま、引き続き、和歌山を応援して下さいますようよろしくお願いたします。

今年も和歌山の「今」をお知らせする旬の話題を取り上げてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

この一年が、みなさまにとって幸せな年となりますようにお祈りいたします。

毎日寒い日が続きます。みなさま、くれぐれも体調にお気をつけください。

知事室 秘書課長 西山 雅美



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、是非ご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願いたします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2023年（令和5年）1月 NO.176

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026